

県民の結婚の意識に関する調査の結果について

1 要旨・目的

少子化の要因の一つである未婚化の背景には、経済的な不安、仕事と子育ての両立への不安、家事・育児の分担への意識等、様々な要因が複雑に絡み合っていると考えられることから、この要因を把握するための調査を実施したので、結果を報告する。

2 現状・背景

- 本県においても未婚化が進展しており、20～49歳の各年齢階級の有配偶者率は低下傾向、50歳時未婚率は上昇傾向にある。
＜50歳時未婚率＞ 男性24.2%、女性15.8%（令和2（2020）年総務省国勢調査）
- 18～34歳未婚者のうち結婚する意志のある者は減少傾向にあり（男性81.4%、女性84.3%）、一生結婚するつもりはない者は増加傾向にある（男性17.3%、女性14.6%）。また、いずれ結婚したいと考えている25～34歳の未婚者について、現在独身でいる理由は男女とも「適当な相手にまだめぐり会わないから」が最多（男性43.3%、女性48.1%）となっている。（出生動向基本調査）
- これまで県では、「こいのわボランティア」の育成や「こいのわ出会いサポートセンター」の運営を支援し、多様な主体による出会いの場の創出や婚活の社会的気運の醸成・裾野拡大に取り組んできた。
- 令和6年度に策定した「ひろしま子供の未来みんなで応援プラン」に基づき、引き続き、結婚を希望する人への支援を実施するにあたって、より効果的な施策について検討していくため、今回、調査を実施した。

3 概要

（1）実施主体

広島県

（2）実施期間

令和7年6月23日（月）～令和7年9月5日（金）

（3）実施内容

ア 名称

県民の結婚の意識に関するアンケート及びインタビュー調査

イ 対象者

広島県在住の20歳～39歳の独身男女

ウ 内容

結婚の意思や結婚に向けた行動の有無等についてWEBアンケートを実施し、その結果を踏まえて個別のインタビューを実施。

エ 回答者数

- ・ アンケート調査 : 1,000人
- ・ インタビュー調査 : 10人

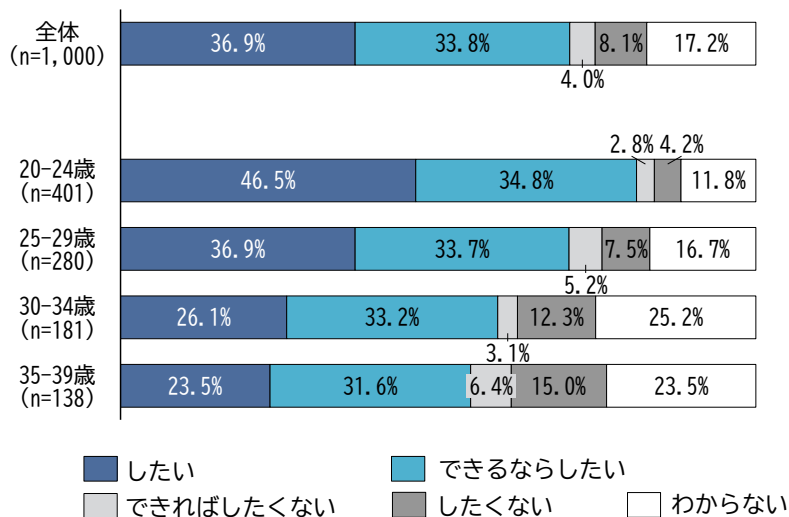
4 調査結果の概要

(1) 結婚の意向とその実現の見込等

ア 結婚の意向

- 結婚したいという希望がある者は70.7%で、年齢が上がるにつれて減少する傾向にある。

広島県の20～30代未婚者の結婚意向（全体・年齢別）



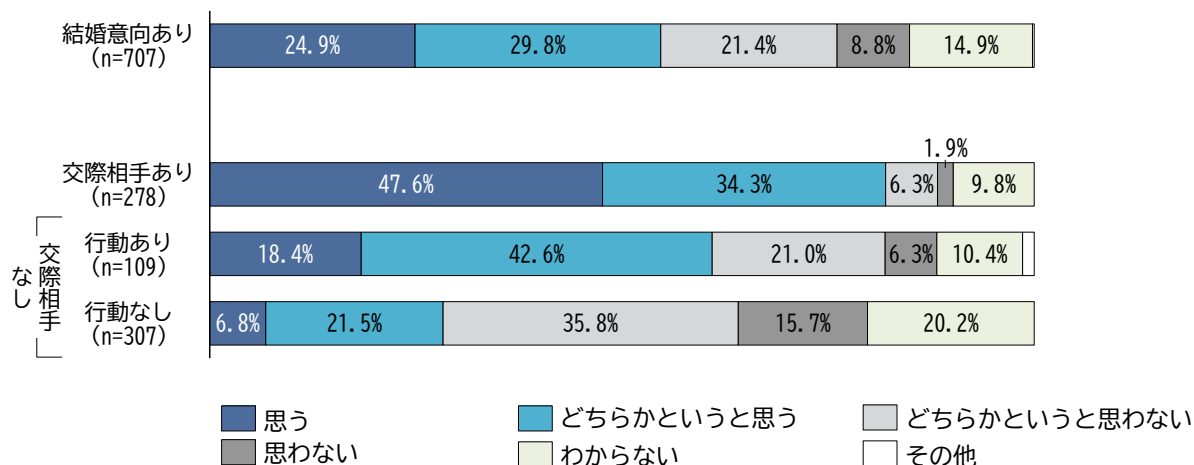
《インタビューでのコメント》

- ・両親はすごく仲がよく、友達の夫婦も楽しそうなので、結婚にはプラスの気持ちがある。(32歳 女性)
- ・SNSなどで結婚に関するネガティブな情報を見ると、自分を含めて結婚はやめておこうという意思につながると思う。(28歳 女性)

イ 希望の実現の見込

- 結婚したいという希望がある者のうち、その希望を実現できると思う者は54.7%となっている。
- 交際相手の有無等によって差が生じており、交際相手がおらず、結婚に向けた行動もしていない者では、希望を実現できると思う者は28.3%と大きく減少している。

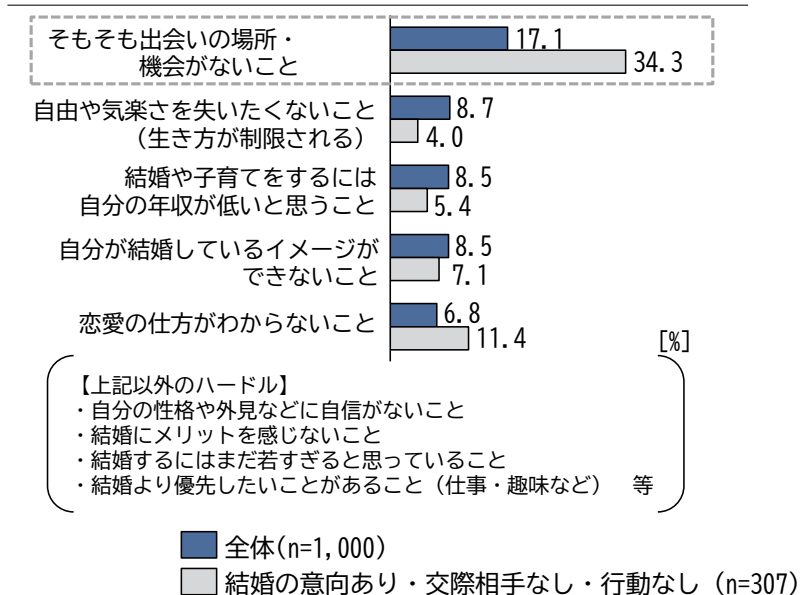
結婚意向がある者が思う実現の見込み（交際相手及び行動の有無別）



ウ 結婚へのハードル

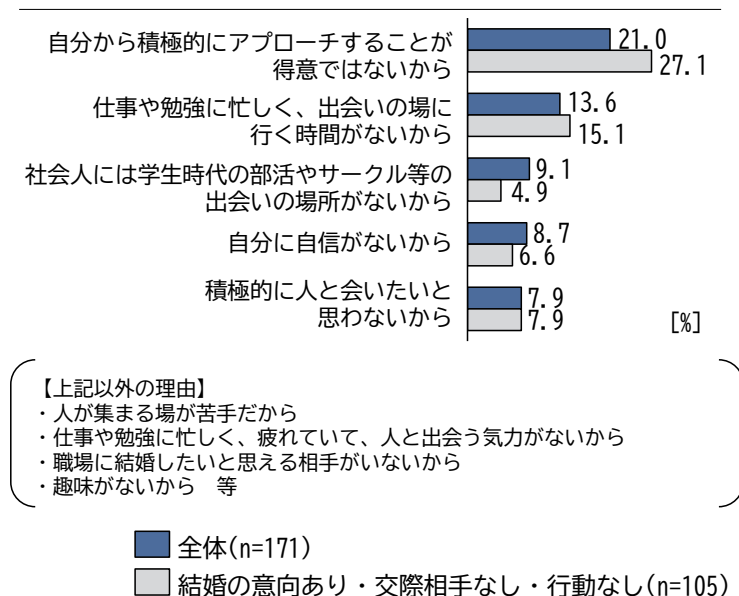
- 結婚へのハードルとして最も大きいと感じるものは、「出会いの場所・機会がないこと」の17.1%が最も多く、特に、結婚したいという希望はあるが、交際相手がおらず、行動していない者で多くなっている。

結婚へのハードル（上位5項目） <SA>



- また、「出会いの場所・機会がない」と感じる理由としては、「自分から積極的にアプローチすることが得意ではない」の21.0%が最も多い。

出会いがないと感じる理由（上位5項目） <SA>



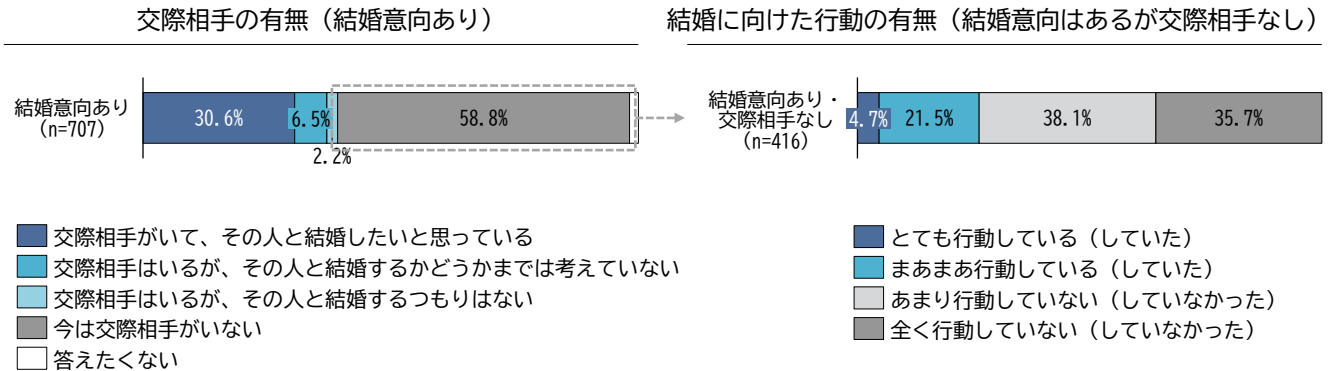
《インタビューでのコメント》

- ・大学時代も社会人になってからも出会いがない。普通に働いていたらその人たちとしか関わることがない。1人では出会いの場所に行くこともない。(30歳 女性)
- ・恋愛の仕方がわからない。性格上、相手に一步を踏み出せない。(37歳 女性)
- ・自分に自信がなく、出会いの場に行くことの不安や恐怖があって踏み出せない。(34歳 男性)
- ・結婚や子育てには何かとお金がかかると思い、そこがハードルとなっている部分は大きい。(30歳 男性)

(2) 結婚に向けた行動

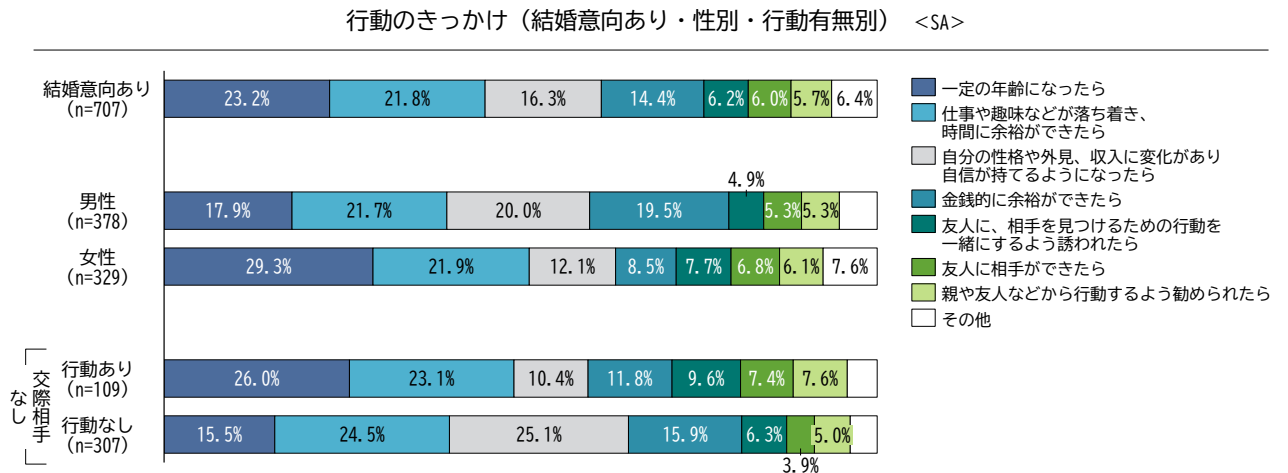
ア 交際相手及び行動の有無

- 結婚したいという希望がある者のうち、交際相手がいない者は 58.8%であり、このうち、結婚に向けた相手を見つけるための行動をしていない者は 73.8%となっている。



イ 行動のきっかけ

- 行動していない者が結婚に向けた行動をするきっかけとなるものとしては、「自信が持てるようになったら」の 25.1%が最も多い。



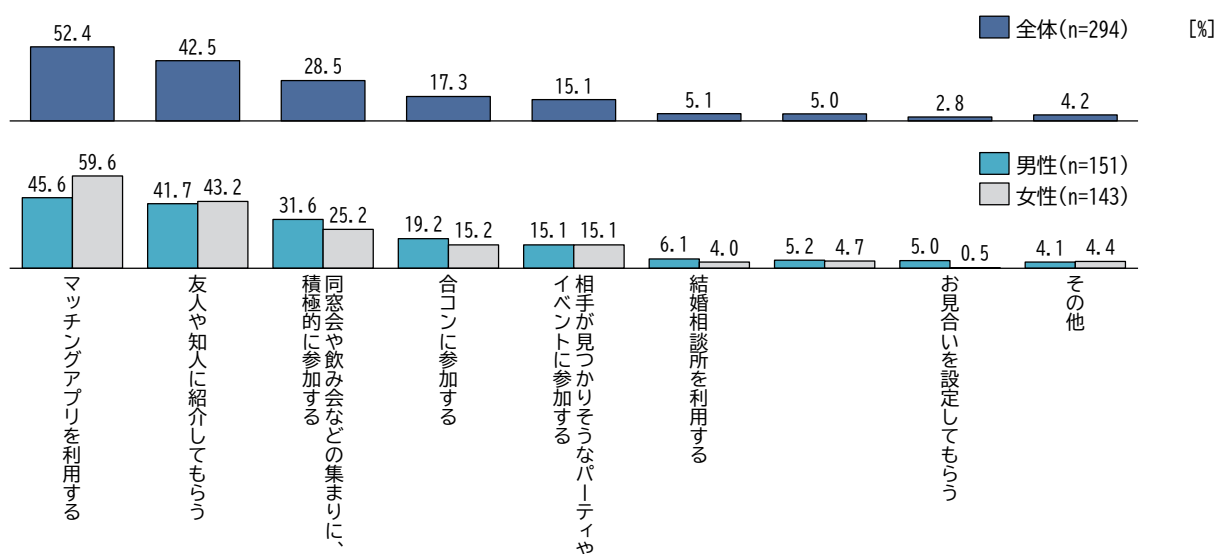
《インタビューでのコメント》

- ・今は趣味や仕事を優先して生活していきたい気持ち大きい。(28歳 女性)
- ・どう動いていいかもわからないので、行動に至っていない。(28歳 女性)
- ・テレビやSNSで結婚相手として求められている人のスペックを見ると、年収や外見、性格などが完璧な人でないと結婚できないように感じ、自分には難しいと思う。(30歳 男性)

ウ 行動の内容

- 行動の内容としては「マッチングアプリ」の52.4%が最も多く、次いで「友人や知人に紹介してもらう」の42.5%、「同窓会や飲み会への参加」の28.5%が多い。

結婚に向けた行動の内容（全体・男女別）



《インタビューでのコメント》

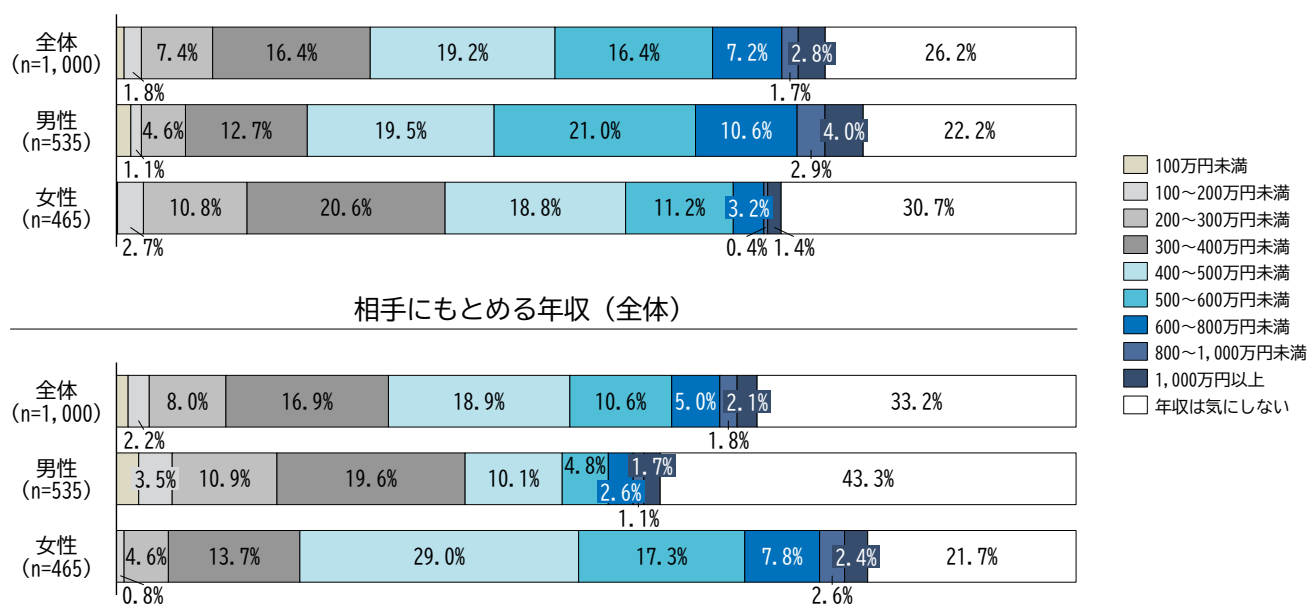
- ・趣味等が合わせやすいので、相手を探す際にはアプリを使うと思う。(23歳 男性)
- ・アプリは犯罪に巻き込まれたというニュースを見ると怖いと思う。(28歳 女性)
- ・県が行う出会いの場の提供は安心感があると思う。(30歳 男性)

(3) 経済的な要因

ア 結婚しようと思える年収

- 結婚しようと思える自分の年収、相手の年収のどちらについても、「年収は気にしない」が最も多く、次いで「400～500万円未満」、「300～400万円未満」となっている。

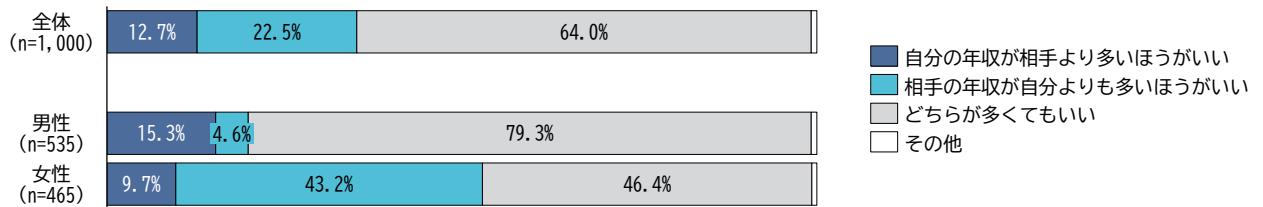
結婚しようと思える年収（全体）



イ 自分と相手の年収の希望

- 自分と相手の年収を比較した際の考え方として、「どちらが多くてもいい」の 64.0% が最も多い。

自分と相手の年収の希望（全体・性別）



《インタビューでのコメント》

- ・相手の年収はある程度気にはする。でも自分が安定して稼げるから、自分が支えてもいいかぐらいの思いはある。(32歳 女性)
- ・SNSで、年収500万円ではダメ、という投稿がバズっているのを見ると、年収が高くないとうまくいかないと思う。(30歳 男性)

5 調査結果のまとめ

(1) 結婚の意向とその実現の見込等

結婚したいという希望がある者は多いが、その希望を実現できると思う者は半数にとどまっており、結婚に向けた行動をしていない者では、希望を実現できないと思う者が多くなっている。

結婚へのハードルとしては、「相手へのアプローチが得意でない」などの理由で、出会いの場所・機会がないと感じている者が多い。

(2) 結婚に向けた行動

結婚の希望はあるものの相手を見つけるための行動をしていない者が多く、これらの者の行動するきっかけとしては、「自信が持てるようになったら」が最も多い。

こうした者の中には、SNS等の影響によって、ハードルを感じ、行動を躊躇している者がいる。

(3) 経済的な要因

結婚しようと思える自分の年収と、相手の年収のどちらについても、「年収は気にしない」者が最も多い。

一方で、SNS等の影響によって、今よりも高い年収でなければならないと感じている者もいる。

6 令和7年度予算（一部国庫）

3,000千円(国庫2/3)

7 今後の対応

今回の調査の結果を、今後の施策の検討にあたっての基礎資料として活用する。



県民の結婚の意識に関する調査の結果について

R7年10月

広島県健康福祉局子供未来応援課

1 実施期間

令和7年6月23日（月）～令和7年9月5日（金）

2 対象者

広島県在住の20歳～39歳の独身男女

3 回答者数

- ・ アンケート調査 : 1,000人
- ・ インタビュー調査 : 10人

4 内容

結婚の意向や結婚に向けた行動の有無等についてWEBアンケートを実施し、その結果を踏まえて個別のインタビューを実施。

5 その他

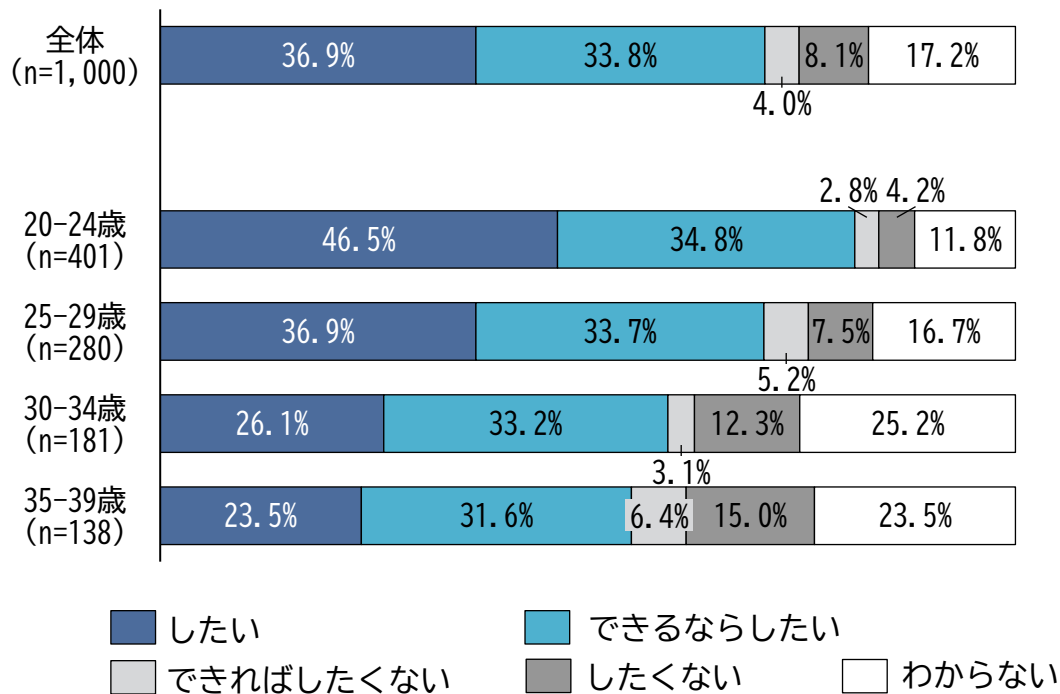
アンケート調査の集計にあたっては、回答者の性別や年齢の偏りを補正するため、広島県の未婚者の人口構成比に合わせてデータに重み付けをするウェイトバック集計を行った。

【結婚の意向とその実現の見込み等】

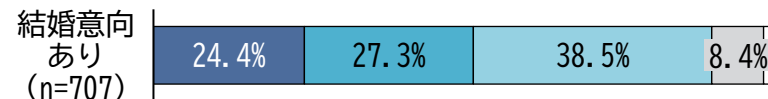
○ 結婚の意向

- 結婚したいという希望がある者は70.7%で、年齢が上がるにつれて減少する傾向にある。
- 結婚したくない者は12.1%で、このうちの76.8%が22歳ごろまでにはそう思うようになっていく。結婚したいという希望を持つ者では、51.7%が22歳ごろまでにそう思うようになっていく。

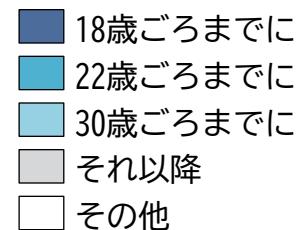
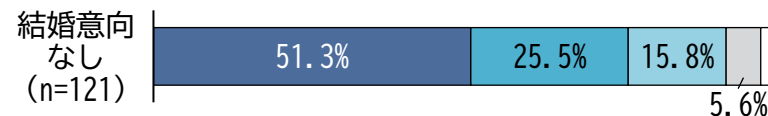
広島県の20～30代未婚者の結婚意向（全体・年齢別）



結婚したいと思い始めた時期



結婚したくないと思い始めた時期



《インタビューでのコメント》

【結婚したいという希望があり、相手を見つけるための行動をしている層】

- ・両親はすごく仲がよく、友達の夫婦も楽しそうなので、結婚にはプラスの気持ちがある。（32歳 女性）
- ・SNSでは幸せな情報は叩かれて発信しにくく、悪口などのほうが盛り上がる。若い人がそういった負の側面だけに触れて、結婚に対してネガティブなイメージを持つ傾向はあると思う。（32歳 女性）

【結婚したいという希望があり、相手を見つけるための行動をしていない層】

- ・一時期独身でもいいかなと思った時期もあったが、しんどいときも増えてきて、精神的に安らぎがほしい。（37歳 男性）
- ・同年代の結婚していない人が結婚についてどう感じているかがすごく気になる。友達にも言えること、言えないことがある。（37歳 男性）

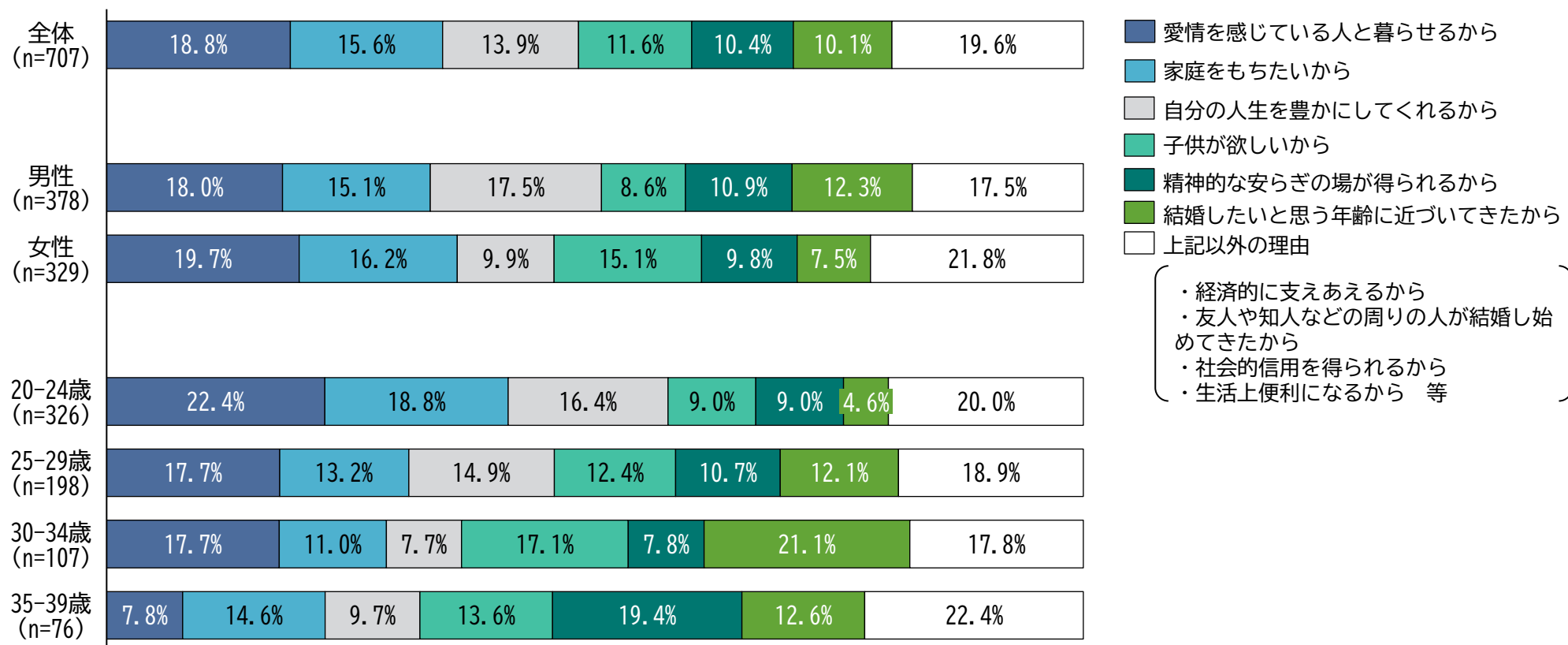
【結婚したくない層】

- ・SNSなどで結婚に関するネガティブな情報を見ると、自分を含めて結婚はやめておこうという意味につながると思う。（28歳 女性）

○ 結婚したい理由

- 結婚したい理由については、「愛情を感じている人と暮らせるから」の18.8%が最も多く、年齢が下がるにつれて増加する傾向にある。一方で、年齢が上がると「精神的な安らぎの場が得られるから」が増加する傾向にある。

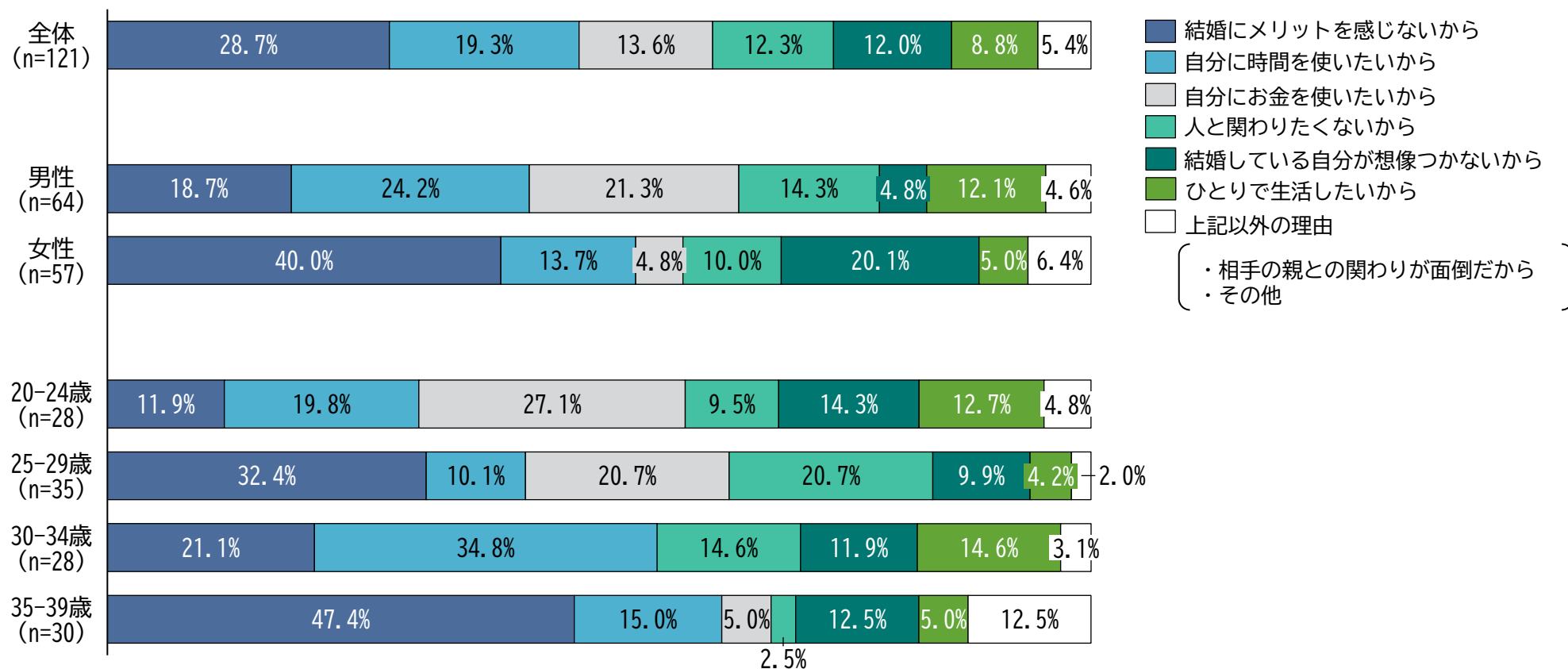
結婚したい理由（全体・性別・年齢別） <SA>



○ 結婚したくない理由

- 結婚したくない理由については、「結婚にメリットを感じないから」の28.7%が最も多い。男性では「自分に時間を使いたいから」が、女性では「結婚にメリットを感じないから」が最も多くなっている。

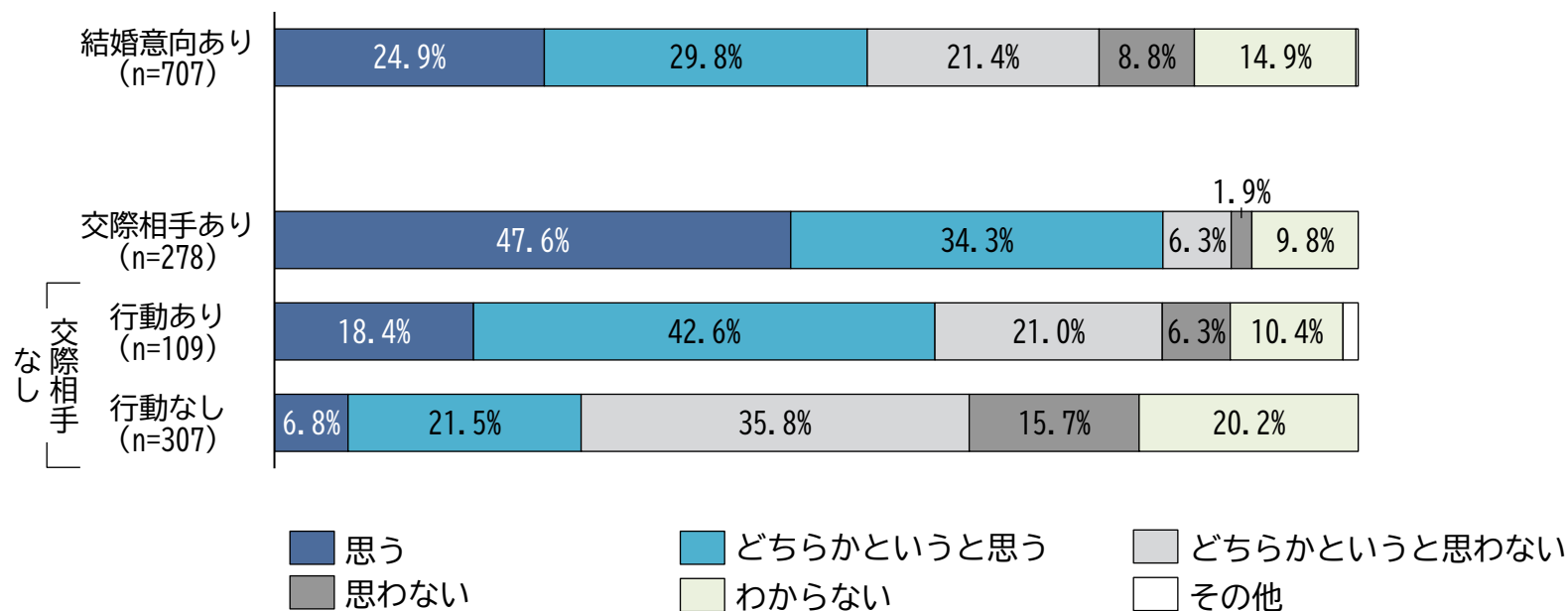
結婚したくない理由（全体・性別・年齢別） <SA>



○ 希望の実現の見込み

- 結婚したいという希望がある者のうち、その希望を実現できると思う者は54.7%となっている。
- 交際相手の有無等によって差が生じており、交際相手がおらず、結婚に向けた行動もしていない者では、希望を実現できると思う者は28.3%と大きく減少している。

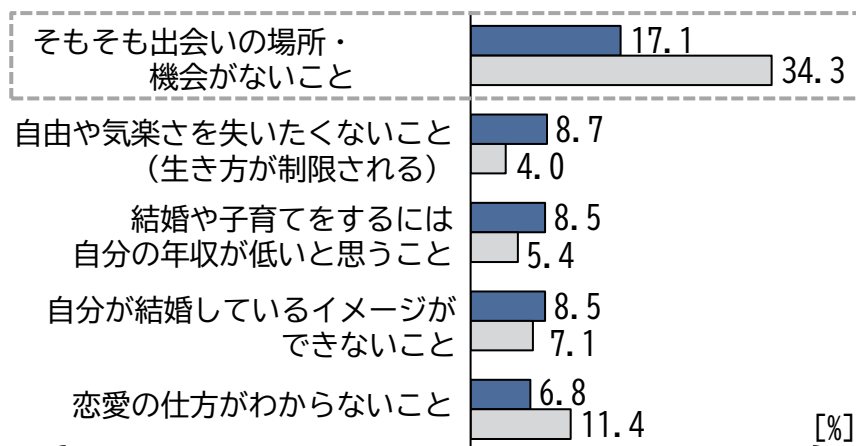
結婚意向がある者が思う実現の見込み（交際相手及び行動の有無別）



○ 結婚へのハードル

- 結婚へのハードルとして最も大きいと感じるものは、「出会いの場所・機会がないこと」の17.1%が最も多く、特に、結婚したいという希望はあるが、交際相手がおらず、行動していない者で多くなっている。
- そう感じる理由としては、「積極的にアプローチすることが得意ではない」の21.0%が最も多く、次いで「時間がないから」となっている。

結婚へのハードル（上位5項目） <SA>



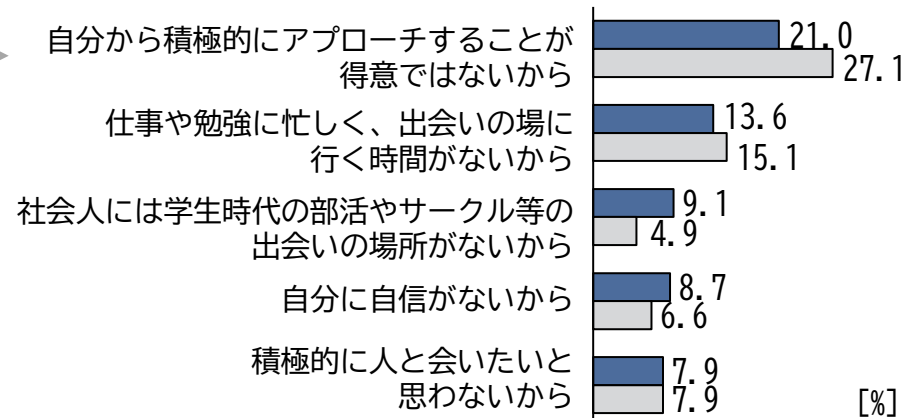
【上記以外のハードル】

- ・自分の性格や外見などに自信がないこと
- ・結婚にメリットを感じないこと
- ・結婚するにはまだ若すぎると思っていること
- ・結婚より優先したいことがあること（仕事・趣味など） 等

■ 全体(n=1,000)

■ 結婚の意向あり・交際相手なし・行動なし (n=307)

出会いがないと感じる理由（上位5項目） <SA>



【上記以外の理由】

- ・人が集まる場が苦手だから
- ・仕事や勉強に忙しく、疲れていて、人と出会う気力がないから
- ・職場に結婚したいと思える相手がいないから
- ・趣味がないから 等

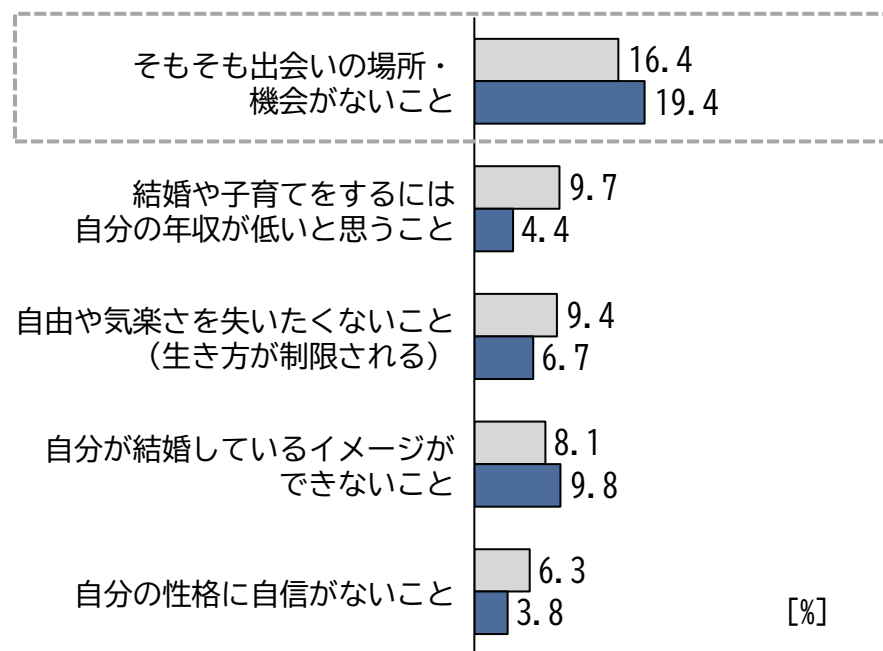
■ 全体(n=171)

■ 結婚の意向あり・交際相手なし・行動なし (n=105)

○ 結婚へのハードル

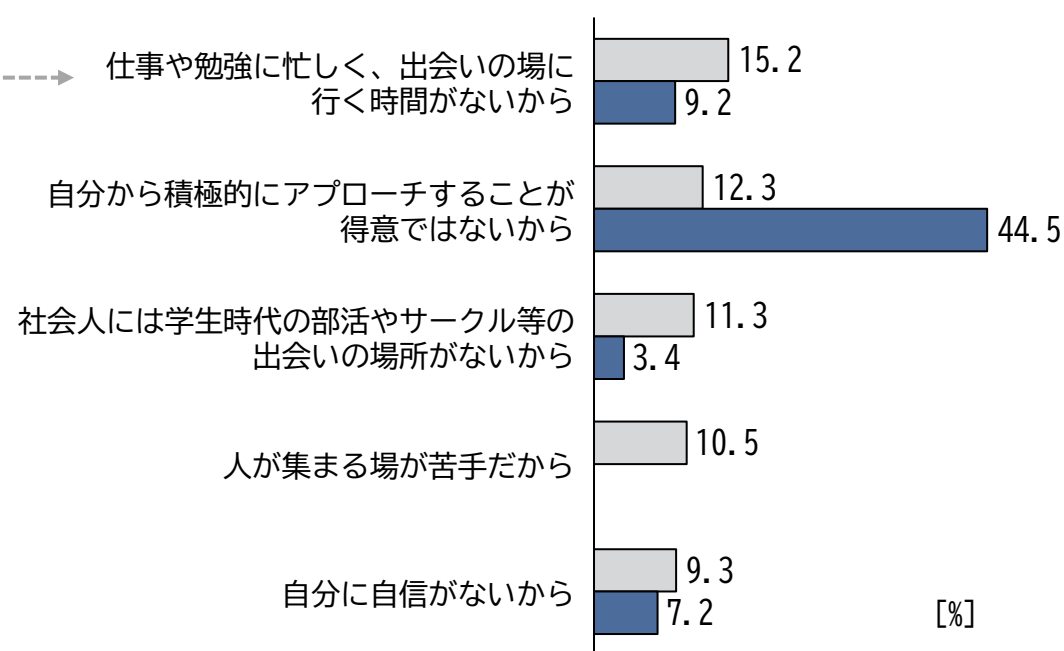
- 同年代との関わりが多いと思われる学生においても同様の傾向があり、ハードルとして感じるものは「出会いの場所・機会がないこと」の19.4%が最も多く、そう感じる理由としては、「積極的にアプローチすることが得意ではない」が最も多い。

結婚へのハードル（立場別・上位5項目） <SA>



□ 社会人(n=762) ■ 学生(n=238)

出会いがないと感じる理由（立場別・上位5項目） <SA>



□ 社会人(n=125) ■ 学生(n=46)

《インタビューでのコメント》

【結婚したいという希望があり、相手を見つけるための行動をしている層】

- ・特に子育てにはお金がかかりそうなので、ハードルに感じる。（23歳 男性）

【結婚したいという希望があり、相手を見つけるための行動をしていない層】

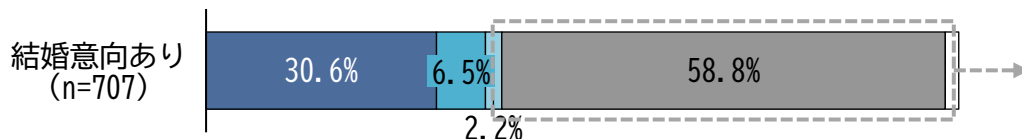
- ・大学時代も社会人になってからも出会いがない。普通に働いていたらその人たちとしか関わることがない。1人では出会いの場所に行くこともない。（30歳 女性）
- ・恋愛の仕方がわからない。性格上、相手に一步を踏み出せない。（37歳 女性）
- ・自分に自信がなく、出会いの場に行くことの不安や恐怖があって踏み出せない。（34歳 男性）
- ・結婚や子育てには何かとお金はかかると思い、そこがハードルとなっている部分は大きい。（30歳 男性）

【結婚に向けた行動】

○ 交際相手及び行動の有無

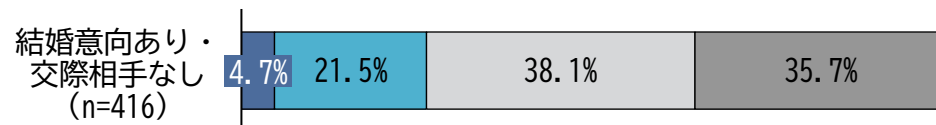
- 結婚したいという希望がある者のうち、交際相手がいない者は58.8%であり、このうち、結婚に向けた相手をみつけるための行動をしていない者は73.8%となっている。

交際相手の有無（結婚意向あり）



- 交際相手がいて、その人と結婚したいと思っている
- 交際相手はいるが、その人と結婚するかどうかまでは考えていない
- 交際相手はいるが、その人と結婚するつもりはない
- 今は交際相手がいない
- 答えたくない

結婚に向けた行動の有無（結婚意向はあるが交際相手なし）



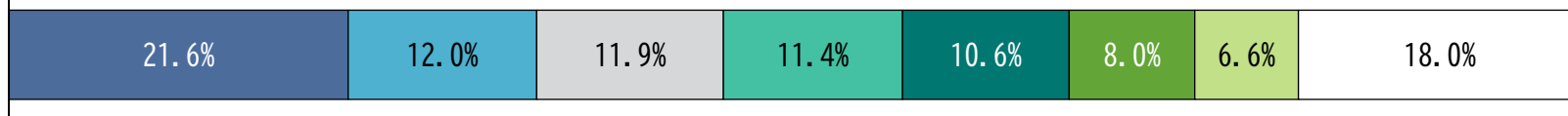
- とても行動している（していた）
- まあまあ行動している（していた）
- あまり行動していない（していなかった）
- 全く行動していない（していなかった）

○ 行動していない理由

- 結婚に向けた行動をしていない理由としては、「相手を探すより優先したいことがあるから」の21.6%が最も多く、次いで「面倒だから」、「自然に出会いたい」、「結婚相手を探す良い方法がわからない」となっている。

行動しない理由（結婚意向はあるが交際相手なし） <SA>

結婚意向あり・
交際相手なし
(n=307)



■ 相手を探すより優先したいことがあるから

■ 相手を探すのが面倒だから

■ 結婚相手とは自然に出会いたいと思っているから

■ 結婚相手を探す良い方法がわからないから

■ 自分の外見に自信がないから

■ 自分の性格に自信がないから

■ 自分の収入に自信がないから

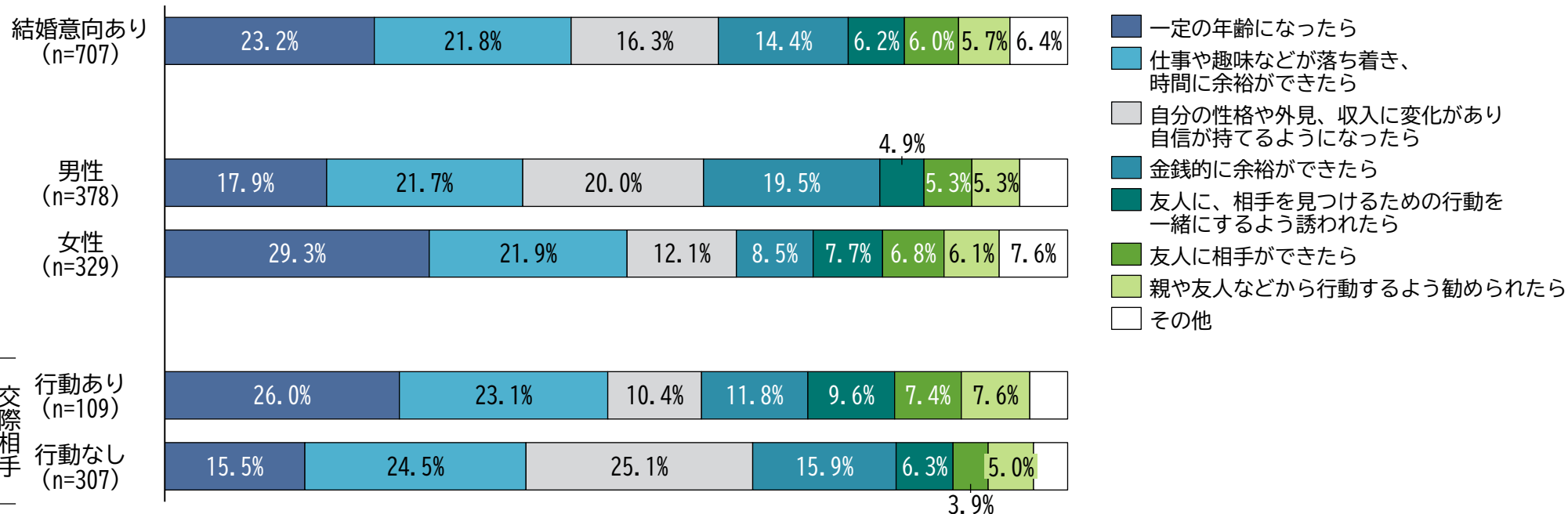
□ 上記以外の理由

・相手を探すことが恥ずかしいから
・典型的な手段（結婚相談所・アプリなど）は使いたくないから
・知り合いから紹介してもらいたいが、頼むのは気後れするから
・相手を探すためにお金を十分につけられない・かけたくないから 等

○ 行動のきっかけ

- 結婚に向けた行動をするきっかけとなるもの（なったもの）としては、「一定の年齢になったら」の23.2%が最も多く、次いで「時間に余裕ができたなら」の21.8%が多い。
- 交際相手がおらず、行動していない者については、「自信が持てるようになったら」の25.1%が最も多い。

行動のきっかけ（結婚意向あり・性別・行動有無別） <SA>



《インタビューでのコメント》

【結婚したいという希望があり、相手を見つけるための行動をしている層】

- ・年齢的に妊娠や婚活に不利になるということが正直気になり、出会いの場に行くようになった。（32歳 女性）

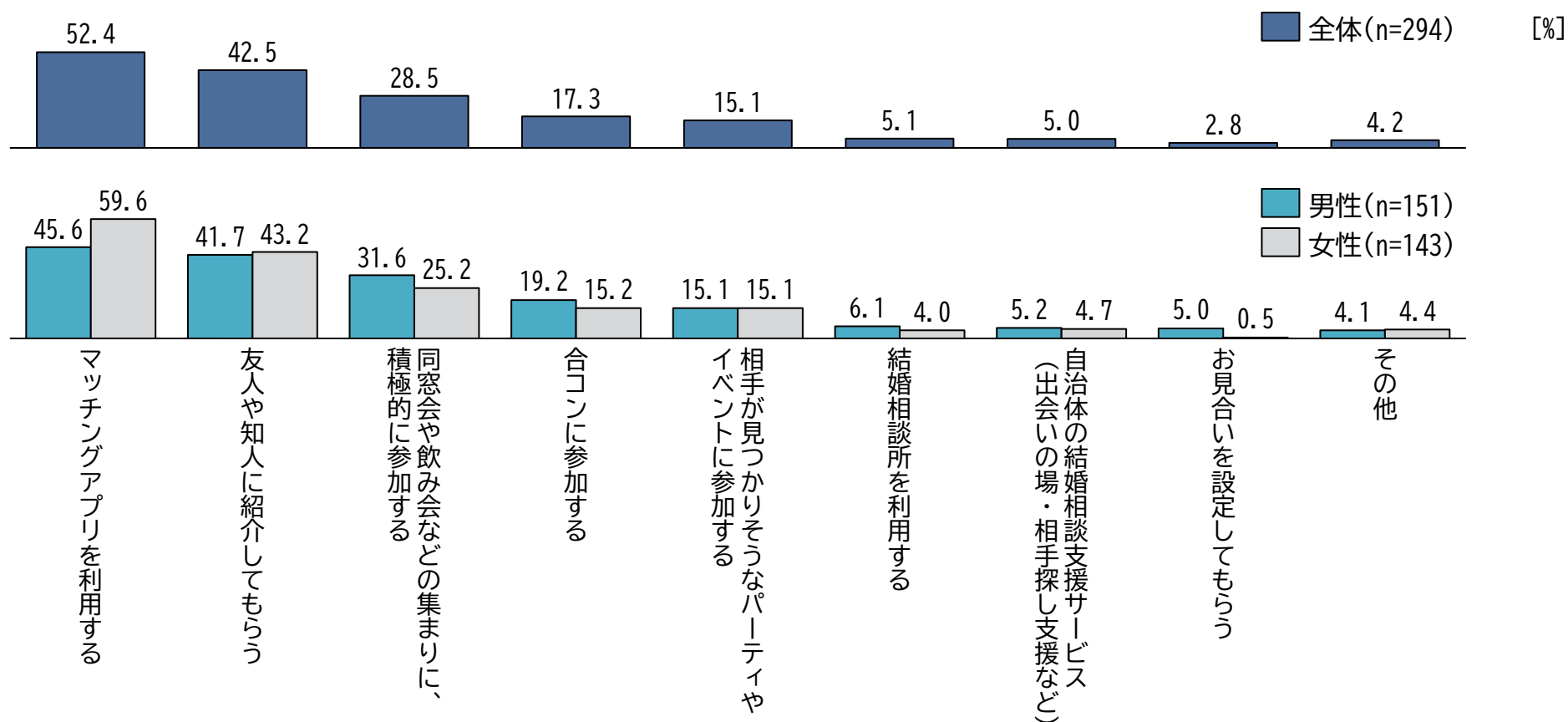
【結婚したいという希望があり、相手を見つけるための行動をしていない層】

- ・今は趣味や仕事を優先して生活していきたい気持ち大きい。（28歳 女性）
- ・どう動いていいかもわからないので、行動に至っていない。（28歳 女性）
- ・自信がなく、自分からはなかなか行動できない。（34歳 男性）
- ・テレビやSNSで結婚相手として求められている人のスペックを見ると、年収や外見、性格などが完璧な人でないと結婚できないように感じ、自分には難しいと思ってしまう。こうしたハードルは年々高まっているように感じる。（30歳 男性）

○ 行動の内容

- 行っている行動としては、「マッチングアプリ」の52.4%が最も多く、次いで「友人・知人の紹介」の42.5%、「同窓会や飲み会への参加」の28.5%が多い。

結婚に向けた行動の内容（全体・性別）



《インタビューでのコメント》

【結婚したいという希望があり、相手を見つけるための行動をしている層】

- ・趣味等が合わせやすいので、相手を探す際にはアプリを使うと思う。（23歳 男性）
- ・アプリは大量の人の情報を得られるので、いい仕組みだと思う。結婚相談所もいいと思うが、費用面で踏み出せていない。（32歳 女性）

【結婚したいという希望があり、相手を見つけるための行動をしていない層】

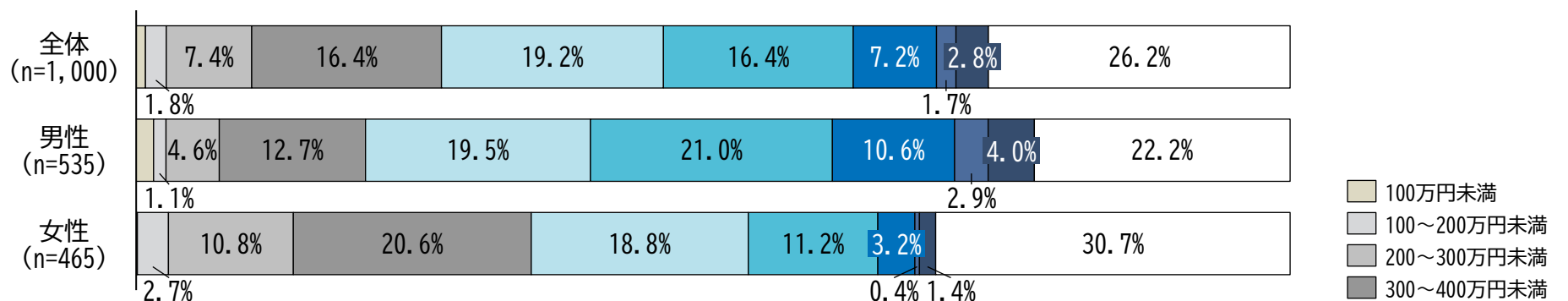
- ・アプリは手軽だし、条件が絞れるのがいい。誰かからの紹介だと断りづらいが、そういったこともない。（30歳 女性）
- ・アプリは犯罪に巻き込まれたというニュースを見ると怖いと思う。（28歳 女性）
- ・県が行う出会いの場の提供は安心感があると思う。（30歳 男性）
- ・アプリよりは県がやっているもののほうが真剣な人多そうなので、そういう面ではいいと思うが、交際に至った数などの実績が分からないとなかなか行けない。（30歳 女性）

【経済的な要因】

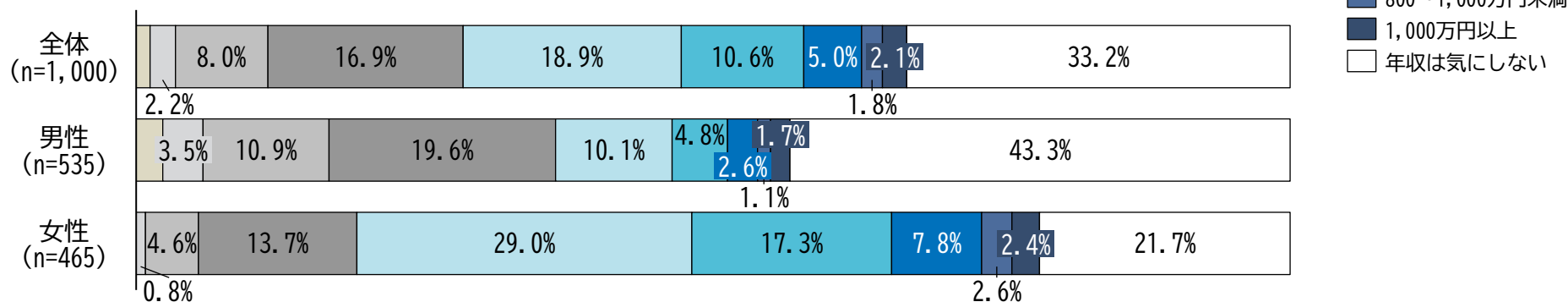
○ 結婚しようと思える年収

- 結婚しようと思える自分の年収、相手の年収のどちらについても、「年収は気にしない」が最も多く、次いで「400～500万円未満」、「300～400万円未満」となっている。

結婚しようと思える年収（全体・性別）



相手にもとめる年収（全体・性別）



○ 現在の年収と結婚しようと思える年収

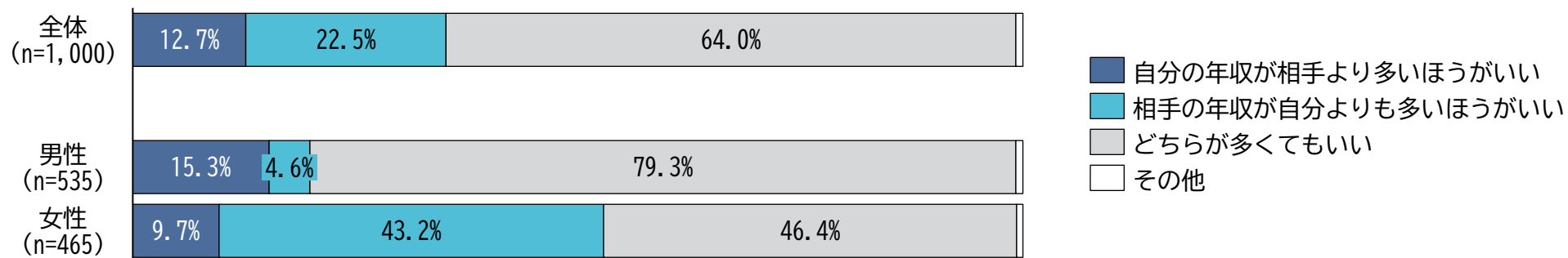
- 現在の年収と結婚しようと思える年収を比較すると、全体では「年収は気にしない」の28%が最も多いが、層ごとでは、現在の年収よりも1つ上の層（100～200万円上）を回答する者が最も多い傾向にある（学生を除いた回答）。

		全 体	自分にどの程度年収があれば、結婚しようと思えますか。									
			100万円未満	100～200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500～600万円未満	600～800万円未満	800～1,000万円未満	1,000万円以上	年収は気にしない
全 体		762	0.7	2.0	8.2	14.6	19.5	15.4	7.1	1.7	2.8	28.0
あなたの年収を教えてください。	100万円未満	73	5.1	6.1	17.3	13.2	10.2	6.2	8.6	4.3	7.5	21.5
	100～200万円未満	68	-	8.7	25.4	19.8	15.4	2.2	-	3.3	-	25.3
	200～300万円未満	169	-	0.5	15.6	26.0	23.5	8.8	5.7	-	0.4	19.5
	300～400万円未満	172	-	0.4	0.9	20.5	32.2	20.0	3.2	0.9	2.6	19.3
	400～500万円未満	106	-	-	0.7	3.7	25.9	35.8	7.2	1.5	-	25.2
	500～600万円未満	53	-	-	-	4.4	5.9	30.4	28.8	3.0	4.4	23.1
	600～800万円未満	13	-	-	-	-	11.0	-	29.3	11.0	5.5	43.2
	800～1,000万円未満	5	-	-	-	-	-	-	-	35.0	32.5	32.5
	1,000万円以上	4	-	-	22.4	-	-	-	-	-	38.7	39.0
	答えたくない	100	1.6	3.0	3.5	3.0	3.7	8.3	6.0	-	4.5	66.5

○ 自分と相手の年収の希望

- 自分と相手の年収を比較した際の考え方としては、「どちらが多くてもいい」の64.0%が最も多い。
- 男女別では、女性において「相手の年収が自分よりも多いほうがいい」が多くなっている。

自分と相手の年収の希望（全体・性別）



《インタビューでのコメント》

【結婚したいという希望があり、相手を見つけるための行動をしている層】

- ・男性の収入のほうが多くあるべきだと思う。（23歳 男性）
- ・相手の年収はある程度気にはする。でも自分が安定して稼げるから、自分が支えてもいいかぐらいの思いはある。（32歳 女性）

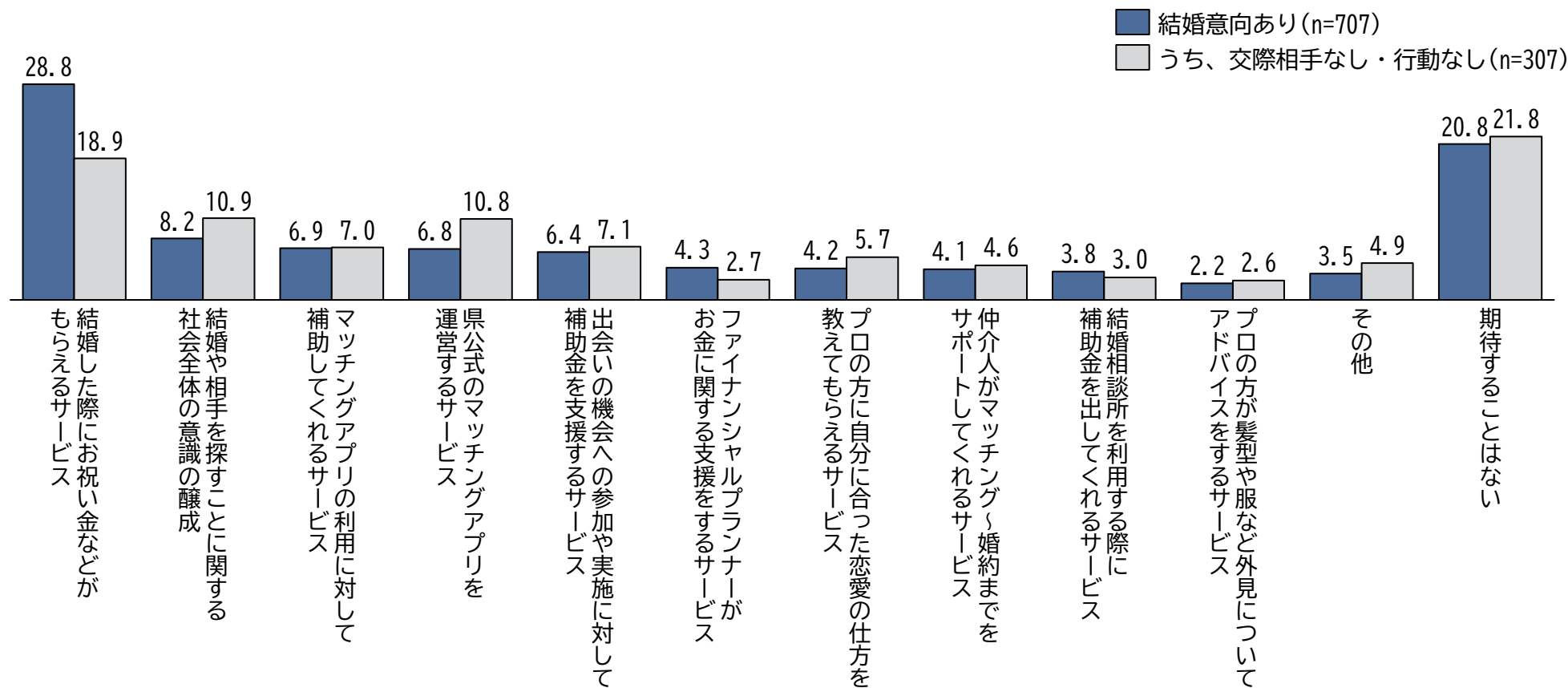
【結婚したいという希望があり、相手を見つけるための行動をしていない層】

- ・SNSで、男性は年収500万円ではダメ、という投稿がバズっているのを見ると、年収が高くないとうまくいかなしいと思う。（30歳 男性）
- ・ネットで、アプリで男性がマッチングするには年収が700万円くらいないと無理、という内容を見て、自分では無理だと思う。（30歳 男性）
- ・自分の年収は高いほうだと思うが、相手には自分と同じくらいの年収はあってほしいと思う。（30歳 女性）

【県に求めるサポート】

- 結婚したいという希望がある者が県に求めるサポートとしては、「結婚した際にお祝い金などがもらえるサービス」の28.8%が最も多いが、交際相手がおらず、相手をみつけるための行動をしていない者では、大きく減少している。

結婚したいという希望を叶えるために県に最も期待すること（結婚意向あり・交際相手がおらず行動もなし） <SA>



《インタビューでのコメント》

【結婚したいという希望があり、相手を見つけるための行動をしている層】

- ・「こいのわ」は知っているが、お堅いイメージがあり、自分とマッチする人はいないと思う。（32歳 女性）

【結婚したいという希望があり、相手を見つけるための行動をしていない層】

- ・自分では行動に踏み出せないので、本当におせっかいなサービスがあれば興味が出てくるかもしれない。（34歳 男性）
- ・恋愛の仕方が分からないので、そういうサポートをしてくれたら助かる。（37歳 女性）
- ・知人がマッチングアプリを利用して交際に至った際に、親から偏見をもって見られたと聞いたので、社会全体の意識の醸成がいるのかなと思う。（30歳 男性）

【結婚したくない層】

- ・結婚の意向については経済的問題が大きいと思う。手取りを上げることが重要で、そうになると結婚について考えられるようになると思う。結婚した人にお祝い金をあげるのは変。（28歳 女性）

【調査結果のまとめ】

【結婚の意向とその実現の見込み等】

- ・結婚したいという希望がある者は多いが、その希望を実現できると思う者は半数にとどまっており、結婚に向けた行動をしていない者では、希望を実現できないと思う者が多くなっている。
- ・結婚へのハードルとしては、「相手へのアプローチが得意でない」などの理由で、出会いの場所・機会がないと感じている者が多い。

【結婚に向けた行動】

- ・結婚の希望はあるものの相手を見つけるための行動をしていない者が多く、これらの者の行動するきっかけとしては、「自信が持てるようになったら」が最も多い。
- ・こうした者の中には、SNS等の影響によって、ハードルを感じ、行動を躊躇している者がいる。

【経済的な要因】

- ・結婚しようと思える自分の年収、相手の年収のどちらについても、「年収は気にしない」者が最も多い。
- ・一方で、SNS等の影響によって高い年収でなければならないと感じている者もいる。